



平成 27 年 10 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
 代表者名 代表取締役会長兼社長 石川 隆一
 (コード番号 7719 東証第2部)
 問合せ先 執行役員 管理部長 氏家 徳良
 (TEL. 03-5207-6760)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 4 月 14 日および同年 5 月 27 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 平成 28 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成 27 年 3 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,650	35	20	270	円 銭 3 78
今回修正予想(B)	2,340	△56	△52	173	円 銭 2 42
増減額(B-A)	△310	△91	△72	△97	—
増減率(%)	△11.7	—	—	△35.9	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 27 年 2 月期第 2 四半期)	2,861	11	△2	△76	円 銭 △1 07

(2) 平成 28 年 2 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 27 年 3 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,200	—	6	2	円 銭 0 03
今回修正予想(B)	1,088	—	△68	△86	円 銭 △ 1 21
増減額(B-A)	△112	—	△74	△88	—
増減率(%)	△9.3	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 27 年 2 月期第 2 四半期)	1,148	—	△37	△117	円 銭 △ 1 64

(3) 平成 28 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,400	50	30	280	円 銭 3 92
今回修正予想(B)	5,283	20	9	207	円 銭 2 90
増減額(B-A)	△117	△30	△20	△73	—
増減率(%)	△2.2	△60.0	△66.7	△26.1	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 27 年 2 月期)	5,837	47	53	△237	円 銭 △3 34

(4) 平成 28 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,450	—	12	4	円 銭 0 06
今回修正予想(B)	1,629	—	△38	△63	円 銭 △0 88
増減額(B-A)	△821	—	△50	△67	—
増減率(%)	△33.5	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 27 年 2 月期)	2,430	—	△66	△75	円 銭 △1 05

2. 修正の理由

平成 28 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、試験機事業において、受注状況は比較的堅調に推移するも当期間内での大口売上案件が少なく、当社単体の第 1 四半期での売上高未達を第 2 四半期で補うべく取り組んだものの挽回するには至らず、また、海外事業において、中国子会社の現地マネジメント体制の再構築と生産体制の整備に時間を要し第 1 四半期に一時的に売上高が大きく落ち込んだことから、売上高、営業損益、経常損益ともに期初予想を大きく下回る見込みであります。

平成 28 年 2 月期通期連結業績予想につきましては、試験機事業では受注環境に改善傾向がみられ下半期後半で売上高および利益の確保を見込んでおり、海外事業でも体制整備の進捗と事業環境の回復基調から下半期での業績改善を見込むものの、上半期の遅れを挽回することは難しく期初予想を下回ると見込んでおります。

なお、通期個別業績につきましては、当社グループの試験機事業再編のため本年 9 月 1 日付で当社の試験機事業を会社分割（簡易吸収分割）により子会社に承継させたことから、期初予想を大幅に下回る見込みとなりました。

以上